

## 北海道留寿都高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスchool宣言 PartⅡ)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	1  「生徒一人ひとりを 一層輝かせ成長させ る教育」を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度を推奨 し、農業教育の質を向上させます。	(1) 農業クラブ各行事 で、生徒の自主的活動を 促し、全国大会にて1名 の生徒が入賞することが できた。 (2) 日本農業技術検定 の3級合格率は80%と昨 年より高い取得率となっ た。	ICT端末を活用した農 業クラブ学習を实践 し、各種活動・資格の 指導を強化していく。	4
	2  「世界と日本をつな ぐグローバル教育」 を行います。	(1) 教科指導の充実を図り、国際教育の 推進を図ります。	(1) 教科間での連携を 意識しながら実施する ことができた。	学校設定科目「国際 農業」にて国際教育に 一層注力していくと ともに、新たな教科横断 的学習を積極的に取り 入れていく。	4
II 地域社会・産業 に寄与する学校	3  「地域農業の生産を 支える教育」を行いま す。	(1) GAPの基準に基づいた農場経営を実 施し、持続可能な農業の推進を図ります。  (2) 農家委託実習を通して、産業人の育 成を目指します。	(1) 生徒が主体とな り、JGAP認証を維持す ることができた。  (2) 委託実習を通し て、地域産業への学びを 深めることができた。	次年度以降も引き続 き実施していく。	5
	4  「地域の農業関連産 業や6次産業化に寄 与する教育」を行いま す。	(1) プロジェクト学習にて地域の課題 や、新たな魅力発信に向けた取り組みを推 進します。  (2) 地域の農業と連携し、6次産業を学 ぶ機会を創出します。	(1) 近隣のエデュケーション等 と連携し、課題解決に向 けて取り組ませることが できた。  (2) 科目「食品製造」 にて地域農業の6次産 業化事例についての学習 をおこなった。	今後も地域の各機関 との連携、地域農業に 関する学習活動を実施 していく。	4
III 地球環境を守り 創造する学校	5  「地球環境を守り、 創造する教育」を行 います。	(1) SDGsの達成に寄与するため、GAPの 基準に基づいた農場づくりを実践します。	(1) 輪作体系に基づい た作付、炭素貯留に配慮 した農場作りを心がけ、 環境負荷の軽減に考慮し た農業を実施できた。	課題研究のプロジェ クト等にて、環境保全 等に研究を推進してい く。	4
	6  「地域資源を活用し、 地域振興の拠点 となる教育」を行いま す。	(1) 村のすべての教育機関と、農業を中 心とした教育連携を実践します。	(1) 保育所・小中学校 との作物栽培体験、花壇 造成、地域機関と連携し た新たな交流体験も実施 することができ、昨年よ りも交流を深めることが できた。	次年度以降も引き続 き実施していくととも に、交流体験の内容を より精選したものにで きるよう、ブラッシュ アップを図っていく。	5
IV 地域交流の拠点 となる学校	7  「Society5.0の時代 に応じた教育」を行 います。	(1) ICTを用いた授業を学校設定科目 「国際農業」を中心に実践し、スマート農 業に関する学習の充実・発展を図ります。	(1) 1人1台端末を活 用しながら各農業科目に てスマート農業に関する 学習を深めることがで きた。	関連企業等との連携 を深め、ICTに関する視 察・体験の場を設定す る。	4
V 地域防災を推進 する学校	8  「地域防災を推進す る教育」を行いま す。	(1) 学校全体にて安全教育を徹底し、防 災意識を高める教育を展開します。	(1) 避難訓練や防災に 関する講習会を実施し、 生徒に高い防災意識を身 に付けさせることがで きた。	次年度以降も引き続 き実施していく。	5